

浄土宗西山禅林寺派

# 潮音寺だより

<http://www.ne.jp/asahi/choonji/namo/>

〒456-0034 名古屋市熱田区伝馬一丁 10-11

ナモの寺 検索

第377号  
平成27年3月

[choonji@aichi.email.ne.jp](mailto:choonji@aichi.email.ne.jp)

電話 052-671-4831

ファックス 052-671-4856



【出典】『妙法蓮華經』方便品  
「唯佛与佛、乃能究尽、諸法実相」  
すべての事物（諸法）のありのまま（自然）の姿。  
（じまろ）  
実相のありようをいう。

三重「いなべ市農業公園」 撮影：超空正道

青カビから  
抗生物質の  
ペニシリンが出来ます  
あのフグ毒でさえ  
使いようによっては  
薬になるそうです

あんなモノが  
こんなヤツが  
とっていても  
実は  
とても役立つ  
存在であり得ます

すべてのものは  
すべてを  
成り立たせるために  
あるがままあるのです  
我欲という  
色メガネを外せば  
本当のすがた  
実相が見えてきます

諸法実相しよほうじつそう

二月二日の未明、衝撃的なニュースが飛び込んできました。過激派組織「イスラム国」関係者とみられる人物が、人質として拘束していたジャーナリスト後藤健二さんを殺害する映像と、『日本政府へのメッセージ』として、「(前略) このナイフは健二だけではなく、大勢の日本国民を、たとえどこにいようと殺すことになるだろう。これは日本にとつての悪夢の始まりだ」と、インターネット上で公開しました。

また、その三日後には、ヨルダン軍パイロットの中尉を焼き殺したとする映像をインターネット上に公表しました。

身も毛もよだつこのよつな非道残忍な集団が、何故出現するのでしょうか。「盗人にも三分の理」という諺があります、彼らにもそれなりの

理由があるのでしょうか。それこそ彼らがいうように、中世の十字軍以来の怨念によるものでしょうか。ユダヤ教、キリスト教、イスラム教この三つの宗教が絡んでいることだけは確かでありますが、それが全てではないようです。

ある日本のジャーナリストの方が、「以前は親親的であった国々でも、イラク戦争以降、誰が敵で誰が味方が分からなくなり、アラブ圏に行くのが怖くなった」といつておられました。ヨルダンは、パイロット殺害に対する報復をすぐさま執行しましたし、日本のようなこれまでは関わりの薄かった国々をも巻き込み、問題は深まるばかりで、解決どころかその糸口すら見えてきません。

血で血を洗う、かよつなテロ行為は、何ともやりきれませんで、その対極にある、童謡詩人、金子みすゞ

(1903〜30年)の詩を三編紹介いたしましたよつ。

『土』

こつつん こつつん

打たれる土は

よい畠はたけになって

よい麦生むよ。

朝から晩まで

踏まれる土は

よい路みちになって

車を通すよ。

打たれぬ土は

踏まれぬ土は

要らない土が。

いえないそれは

名のない草の

お宿やどをするよ。

## 『星とたんぼ』

青いお空の底ふかく、  
海の小石のそのように、  
夜がくるまで沈んでる、  
昼のお星は眼にみえぬ。

見えぬけれどもあるんだよ、  
見えぬものでもあるんだよ。

散つてすがれたたんぼほの、  
瓦のすきに、だアまつて、  
春の来るまでかくれてる、  
つよいその根は眼にみえぬ、  
見えぬけれどもあるんだよ、  
見えぬものでもあるんだよ。

## 『私と小鳥と鈴と』

私が両手をひろげても、  
お空はちっとも飛べないが、  
飛べる小鳥は私のように、  
地面を速くは走れない。

私がかたをゆすつても、

きれいな音は出ないけど、  
あの鳴る鈴は私のように、  
たくさんな唄は知らないよ。

鈴と、小鳥と、それから私、  
みんなちがつて、みんないい。

以上、作者は、「打たれ」、「踏まれる」こと、あるがままを受容し、それでいて、「名のない草」「昼の星」「たんぼほの根」「見えぬもの」に目を注ぎ、ないものを貶さず、あるものは美点とし、互いに認め合おうとしていきます。

私共は、自分の前に現れるさまざまな事象を、見ているようで、実は本当の相（姿）が見えておりません。どうしても「我欲」という色めがねを通してしか見れないものですから、目先の分別で区別したり、比

較したりして、怒ったり喜んだりしているに過ぎません。

『法華経』方便品に「唯仏と仏とのみが、乃ち能く諸法実相を究尽す」とあります。つまり、ただ仏のみが、諸現象のあるがままに見る相（姿）を、そのまま相（姿）の本質であることを知っているといふのです。

換言すれば、「この世のあらゆるものは、真実を示すために存在している。世の中にあるものは、すべて存在意義がある。世の中に不要なものはない」といふことになります。

我々は仏ではないので、敵対する相手の存在意義が見出しにくいですが、「気に入らんから排除してしまえ」では、本質的な解決にはならないことだけは確かです。そうしてこの「諸法実相」の教えこそが、世界平和の扉を開く、大切な鍵となることに間違いはありませんよ。

